

「時を守り、場を清め、礼を正す。」

紫陽花のつぼみが開き始めました。令和が始まり、早一か月。子どもたちは日々学習や行事にがんばっています。もうすぐ梅雨入りを迎え蒸暑い日々続きますが、健康面にも気をつけて、元気に6月を過ごしてほしいと願います。

さて、6月10日は「時の記念日」です。大正9年(1920年)今から約100年前に定められもので、「時間を守る」をスローガンとして始められたそうです。時間を守ることの大切さは、教育者であり哲学者である森信三先生の教えの中に出てきます。「時を守り」とは、「チャイムの合図を守る。時間を守って行動する。決められた期日に提出物を出す。」などのことです。これらのことは、人から信頼されることにもつながります。生徒会が5分前行動を意識し、着席、授業の準備を勧めていますので、けじめのある行動ができている子どもがたくさんいます。とても立派だと感じています。

「場を清め」とは、整理整頓をし、清潔にすることです。掃除をすることで、「よく気がつき、謙虚になり、感謝の心が芽生える」といわれています。子どもたちは清掃の時間、自分の持ち場をきれいにしようとがんばっています。清掃活動を通じて、自分のことだけでなく人のためになることを進んでできる子どもになってほしいとの願いもあります。学校全体がきれいになると心もすっきりします。

挨拶や返事をすることは「礼を正す」ことの一つです。

朝、出会うと明るい声で「おはようございます。」と挨拶できる子どもたちがたくさんいて、とてもうれしく思っています。これは、まず、家族、次に地域の方から声かけをされているからではないでしょうか。進んで挨拶したり、はっきりと返事をしたりすることで、人間関係も円滑になり、温かな空気に包まれます。

また、職員室に用事があって入室してくる時の子どもたちの挨拶が素晴らしいです。「〇年〇組の〇〇です。体育館の鍵を取りにきました。」と大きな声ではきはきと言えます。新宮中学校の伝統として、ぜひ残していきたいことの一つです。

子どもたちの生命を脅かすような事件や事故の報道が多くされておりますが、保護者の皆様、地域の皆様のお力を借りて安全、安心な登下校、中学校生活送れますよう、教職員も努めて参ります。ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

